

国民健康保険から見た市民の疾病の様子

会社員などが加入する社会保険や共済組合とは別に、自営業や農業など、勤務先の健康保険に加入していない人の医療を保障する制度が国民健康保険(国保)です。

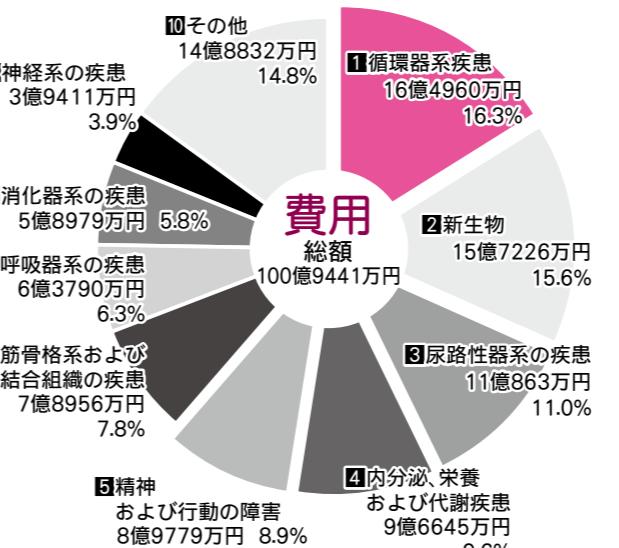
国保は、加入している被保険者からの保険税と、国や県の負担金などを財源として、県と県内市町村が運営しています。

規則正しい生活や健康診査などで自分の健康を守り、医療費の増加を防ぎましょう。

大崎市国保の医療費

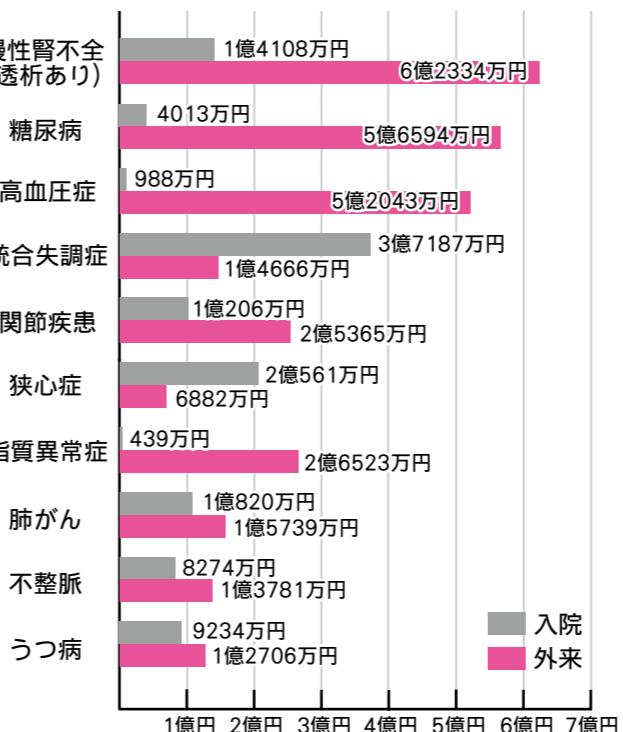
平成29年度の診療報酬明細書(レセプト)から大崎市国保の医療費を見ると、総額で約100億9千円でした。医療費の疾患別割合で上位5つの中は、高血圧症や狭心症など

■疾患別費用割合(図1) ※費用額は1万円未満を四捨五入
資料:レセプトデータ(大崎市)



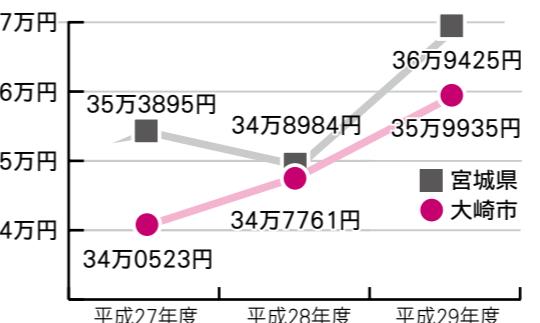
■主な疾患の入院と外来医療費の比較(図2)

資料:レセプトデータ(大崎市)



■一人あたりの医療費の平均額(図3)

出典:宮城県



慢性腎不全が約7億2千万円と全体の18.5%を占めています。外来医療費は、総額約61億9千万円のうち、「慢性腎不全(透析あり)」、「糖尿病」、「高血圧症」「脂質異常症」が約19億7千万円と全体の31.8%を占めています。

入院に比べ外来では、特に「慢性腎不全(透析あり)」、「糖尿病」、「高血圧症」、「脂質異常症」の医療費が高額になつてることがわかります。(図2)

市の国保の平成29年度における一人あたりの医療費は約36万円となり、前年度と比較して約1万2千円増加しています。

36万円となり、前年度と比較して約1万2千円増加しています。

36万円となり、前年度